

平成18年度第2回
浦安市公民館運営審議会議事録

平成18年7月14日開催

平成18年9月20日承認審議

浦安市中央公民館

平成18年度第2回 公民館運営審議会会議

○ 日 時 平成18年7月14日（金）15：00～17：00

○ 場 所 中央公民館 3階第3会議室

○ 次 第

I 開会

1. 委員長挨拶
2. 教育委員会挨拶

II 協議

1. 報告事項
 - (1) 前回定例会会議内容の確認
 - (2) 4～6月公民館主催事業開催結果

2. 審議事項
 - (1) 7～9月公民館主催事業開催計画
 - (2) 公民館の指定管理者制度導入について
 - (3) 諮問について

III その他

○ 出席委員

委員	長	竹本	正和
副委員	長	木邨	定男
委員		杉山	かおる
委員		加藤	和代
委員		内田	祐子
委員		杉江	聖子
委員		柴田	正司
委員		鈴木	由起子
委員		長澤	成次
委員		大杉	麻美
委員		樋口	末吉

○ 出席説明者等

生涯学習部次長	小林	唯紀
生涯学習課長	山田	雄造
中央公民館長	酒井	哲男
堀江公民館長	高梨	晶子
富岡公民館長	熊川	利幸
美浜公民館長	飯塚	義勝
当代島公民館長	長島	常和
日の出公民館長	中島	貴義

I [開 会]

1. 委員長あいさつ

2. 教育委員会あいさつ

II [協 議]

1. 報告事項

(1) 前回定例会会議内容の確認

原案通り承認

(2) 4～6月公民館主催事業開催結果

酒井中央公民館長から資料に基づき説明。

(3) 平成17年度公民館利用状況報告

酒井中央公民館長から資料に基づき説明。以下、質疑は以下のとおり。

(委員)

高齢者のための初心者山歩きと「市民水源の森」散策の実施状況及び反響はどうか。

(酒井中央公民館長)

市民の森を紹介するとともに、山歩きと散策コースの2コースを行いました。また夜には星空観察なども行い、かなり好評でした。今後は、晩秋または初冬に実施したいと考えております。このほか、堀江公民館主催のきぼう青年学級も当地へ行く予定です。

(委員)

その宿泊場所はどうか。

(酒井中央公民館長)

温泉はありませんが、グレードの高い造りでした。

(委員)

交通の便は、厳しい所にあるようです。

(委員)

富岡公民館主催の将棋・囲碁の広場に、囲碁の自由対局とあるが、囲碁だけなのか。

(熊川富岡公民館長)

参加者の9割方は囲碁ですが、将棋の方も参加しています。

会議資料の訂正をお願いします。学習内容に「将棋の自由対局」を追加願います。

(委員)

きぼうよさこいクラブとは、どのような事業なのか。

(高梨堀江公民館長)

以前、知的障害者を対象としている、きぼう青年学級の中の取り上げたものを、一つの主催事業としたものです。

2. 審議事項

(1) 7～9月公民館主催事業開催計画

酒井中央公民館長から資料に基づき、説明。

(委員)

平和関連で様々な事業があるが、戦争体験の話聞く機会があったのか。

(酒井中央公民館長)

今年度はまだないが、昨年度は戦争体験談を投稿された方に依頼し、2回実施した。

この体験談は、冊子にして各公民館に設置している。また、学校から要望があれば体験談の投稿者に依頼したいと考えている。

(委員)

戦争体験談集は字が小さく、内容も小学生には難しいので、小学生版があるとよいと思う。

(小林生涯学習部次長)

市でも要請により語り部を行なっている。これらと公民館の事業が合わされば更に大きな事業になるのではないか。

(委員)

戦争体験談を伝えるためには工夫をしないといけない時代になったと思う。

(委員)

高層住宅の地震防災を考える講座の応募状況はどうか。

(中島日の出公民館長)

ルネサンス以外にも掲載するなどPRしているが、応募者は少ない。更にPRしていきたい。

(委員)

かなり防犯について関心が高いので、それと合わせて実施するとよいのではないか。

(委員)

市民の文化芸術活動支援の状況はどうか。

(酒井中央公民館長)

中央公民館に展覧会で1件、日の出公民館に音楽関係で1件の問い合わせがある。

* 審議事項(2)及び(3)の順序を変更した。

(3) 諮問について

竹本委員長、酒井中央公民館長より、資料に基づき説明。

(委員)

2007年問題をメインに、公民館運営審議会で話し合った内容をまとめてみた。男性の視点が多かったため、女性の視点にも気を付けてまとめている。委員皆さん

にお読みいただき、7月末までにご意見をいただきたい。

(2) 公民館の指定管理者制度導入について

(酒井中央公民館長)

法律の改正により、公民館も指定管理者制度の対象となっているため、委員の皆さんにご意見を頂きたいと考え今回の議題に載せた。

(委員)

指定管理者制度と公民館について、資料に基づき説明。

(小林生涯学習部次長)

市の指定管理者制度の導入や検討状況を説明。

(委員)

公的サービスとの両立は成り立たないと思う。第3者への委託、丸投げもありうる。

(委員)

税金も委託費として投入される。

個々の具体的業務の第3者への委託した中で、例えば、仙台のプール天井落下事故は、最終的に市が責任を取る形となった。

(酒井中央公民館長)

福祉分野は、先行して指定管理者制度へ移行している。公民館としては、直営していくための意味合いを求めていかなければならない。

(委員)

指定管理者制度への移行とした場合、業者の入れ替えが3年から5年としたとき、その短い期間では、地域とのつながりが築けないのではないか。

(小林生涯学習部次長)

教育委員会の関連施設へアンケートした結果、10施設すべて、指定管理者制度への移行は否との回答があった。それを受けて教育委員会としては、社会教育施設への導入はなじまないとしたところである。

(委員)

公民館運営審議会としては、教育委員会の考えを尊重して側面から支援していきたい。

Ⅲ. その他

(1) 次回会議日程

次回は、平成18年9月20日金曜日に開催することとした。

閉 会